



若澤佑典文学部助教  
(日吉・英語)

# 舞台上で踊る思考 大学キャンパスと 演劇文化

＜猛暑は継続中ですが、夏休みトークショーもまだまだ  
終わりません…＞

シアター・スペースは、新たな思考が生まれる場所です。スポット・ライトを浴びること、暗闇から「別の世界」が立ち上がること、「私ではない何か」になること、独白することなどなど、舞台上での振る舞いは、「思考のギミック」(=新しいアイデアを生み出すための仕掛け)と重なります。劇場は娯楽の場であると同時に、みんなが／みんなで何かを探究し、実現するための「思考インフラ」と言えるのかも。かつて、大学といえば学生演劇、演劇といえば学生街の小劇場、というイメージの時代がありました。コロナの混乱期／閑散期を経て、大学をめぐる演劇の状況は今いずこに。2025年度には日吉キャンパスに、小演劇空間が生まれるかもしれない(!)というニュースもあります。「リベラル・アーツの場」と「演劇をすること／観ること」のこれからについて、一緒に考えてみたいと思います。大学授業における演劇実践、語学授業との連携にも言及します。

\*各キャンパスの学生はもちろんのこと、高校生から卒業生、若手研究者から名誉教授まで、幅広い層の参加を歓迎します!

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ、発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。日吉の1～2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です!

9月3日(火)

14:00～

15:00(予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス  
来往舎小会議室

対象：塾生・教職員  
(塾員も歓迎します!)

★事前登録不要★

問い合わせ：

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp